

Classic Pro

Power Amplifier

CPL150

取扱説明書

Ver. 1.0

本製品の特徴

- ・ステレオ出力 45W×2(8Ω)、75W×2(4Ω)
- ・ブリッジ出力 150W(8Ω)
- ・冷却効率の良い大型ヒートシンク
- ・アンプの出力を確認できる6セグメントのLEDメーター
- ・バランス XLR/TRS フォン入力端子
- ・スピコン/バインディングポスト出力端子
- ・ステレオ/パラレル/ブリッジモード切替可能
- ・静かな場所での使用に適したファンレス仕様
- ・省スペースに設置可能な 1U デザイン

使用上の注意

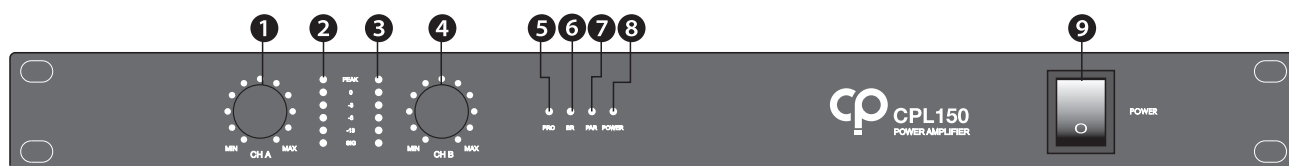
使用前に本書をよく読み、いつでも手に取れる場所に保管してください。
本書に記載されているすべての警告を理解し、指示に従ってください。
本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
以下のような取り扱いは、予期せぬ故障や事故の原因となる恐れがあります。

- ・本製品の分解、改造、修理
- ・本製品を落下させたり、重量のあるものを乗せるなどの衝撃・負荷
- ・ケーブル類を無理に曲げたりするなどの衝撃・負荷
- ・液体や異物の本製品への侵入
- ・水回りや雨天の野外など湿気の高い場所での使用・保管
- ・直射日光や暖房器具の前など高温になりやすい場所での使用・保管

本製品に異常が発生した場合、電源コードをコンセントから外し、販売店に連絡してください。

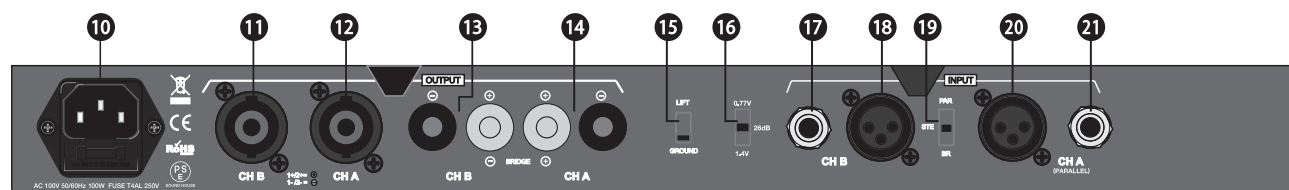
各部の名称

フロントパネル



- 1 CH A レベルコントロール**
CH Aの出力レベルを調整します。
- 2 CH A LEDレベルメーター**
CH Aの出力レベルを表示。PEAKが連続して点灯する場合は、ノブ**1**を反時計回りに回し、音量を下げます。
- 3 CH B LEDレベルメーター**
CH Bの出力レベルを表示。PEAKが連続して点灯する場合は、ノブ**4**を反時計回りに回し、音量を下げます。
- 4 CH B レベルコントロール**
CH Bの出力レベルを調整します。
- 5 PRO (PROTECT)**
保護回路の動作を示すLEDインジケータです。
いずれかのチャンネルで以下のような状況が発生した場合、点灯します。
・出力トランジスタの温度が85℃を超えている。
・機器に異常が発生している。
- 6 BR (BRIDGE)**
ブリッジモード時に点灯します。
- 7 PAR (PARALLEL)**
パラレルモード時に点灯します。
- 8 POWER**
電源ON時に点灯します。
- 9 電源スイッチ**
本体の電源を入れます。電源を入れる前にレベルが最小であること、電源コードが電源コンセントに正しく接続されていることを確認してください。

リアパネル



- 10 ヒューズホルダー付き電源コネクタ**
付属の電源コードを接続します。
- 11 CH B スピコン出力端子**
CH Bのスピーカー出力です。スピコン端子を接続します。
- 12 CH A スピコン出力端子**
CH Aのスピーカー出力です。
- 13 CH B バインディングポスト出力端子**
CH Bのスピーカー出力です。バナナプラグ、またはケーブル線を接続します。ブリッジモードで使用する場合は内側にある2つの赤色バインディングポスト (CH A→+, CH B→-) に接続します。
- 14 CH A バインディングポスト出力端子**
CH Aのスピーカー出力です。
- 15 GROUND/LIFTスイッチ**
グラウンドループによるハムノイズが発生している場合に設定を変えてください。このスイッチをGROUND側にすると、入力信号のシールド/グラウンドをパワーアンプの筐体、及び主電源のアースと接続します。LIFT側にすると、入力信号のシールド/グラウンドとパワーアンプの筐体は切り離されます。
- 16 入力感度切替スイッチ**
0.775V、26dB、1.4Vの切り替えをします。
- 17 CH B TRSフォン入力端子**
TRSフォンケーブルを接続します。
- 18 CH B XLR入力端子**
XLRケーブルを接続します。
- 19 動作モード切替スイッチ**
動作モードをパラレル (PAR)、ステレオ (STE)、ブリッジ (BR) へ切り替えます。
- 20 CH A (PARALLEL) XLR入力端子**
XLRケーブルを接続します。パラレルモード (CH A、CH Bの両方から同じ信号を出力する) 時はこちらの入力端子に接続します。
- 21 CH A (PARALLEL) TRSフォン入力端子**
TRSフォンケーブルを接続します。

セットアップ

1. 入力端子

ミキサーやチャンネルデバイダー等の出力端子から、本製品の入力端子に接続します。本製品のXLR端子とTRSフォン端子(17と18、19と20)はそれぞれ並列に接続されており、外部機器への出力用端子としても使用することができます。

使用例:XLR ケーブルを本製品のCH AのXLR入力端子18に接続します。本製品のCH AのTRSフォン端子17から他のアンプなどの入力端子へ接続して同じ信号を出力できます。

2. 出力端子

アンプ背面にあるスピコン出力端子11・12、バインディングポスト13・14にスピーカーを接続します。ステレオ、パラレルモード の場合、CH A、およびCH Bの出力端子に接続します。ブリッジモードの場合、赤色のバインディングポストにスピーカーを接続します。(CH A14: +、CH B13: -)

ステレオモード

アンプを含め、すべての音響機材の電源がOFF であること、本製品のレベルコントロールつまみ14が最小レベルまで下がっていることを確認し、動作モード16をステレオに切り替えます。次に入力信号をCH A20または21、およびCH B17または18に、出力端子11・13、12・14にスピーカーを接続します。アンプの電源を入れ、入力ソースの出力レベルを上げて出力音量を調節します14。出力音量は、クリッピングが発生しないよう注意してください。



ブリッジモード

アンプを含め、すべての音響機材の電源がOFF であること、本製品のレベルコントロールつまみ14が最小レベルまで下がっていることを確認し、動作モード16をブリッジに切り替えます。次に入力信号をCH A20または21、アンプ背面に配置された赤色のバインディングポスト13・14にスピーカーを接続します(スピーカーのインピーダンスは 8Ω以上になるようにしてください)。アンプの電源を入れ、CH Aの出力レベルを上げ、出力音量を調節します14。出力音量は、クリッピングが発生しないよう注意してください。



パラレル・モード

設定の前にアンプを含め、すべての音響機材の電源がOFF であること、本製品のレベルコントロールつまみ14が最小レベルまで下がっていることを確認し、動作モード16をパラレルに切り替えます。次に入力信号をCH A20または21、出力端子11・13、12・14にスピーカーを接続します。アンプの電源を入れ、CH A、Bの出力レベルを上げ、出力音量を調節します14。出力音量は、クリッピングが発生しないよう注意してください。出力音量は、チャンネルごとに調整可能です。



仕様

モデル名	CPL150	
アンプクラス	AB級	
入力インピーダンス	20 kΩ	
入力レベル	21 dBv / 9 V	
出力	ステレオRMS 8Ω	45 W × 2
	ステレオRMS 4Ω	75 W × 2
	ブリッジRMS 8Ω	150 W
周波数特性	10 Hz~50 kHz、-1. 5 dB	
SN比(dBA、RMS)	80 dB以上	
ダンピングファクター (1 kHz, 8Ω)	150以上	
感度	0.775 V/1.4 V/26 dB	
スルーレート	35 V/μs	
クロストーク@定格電力(1kHz, 8Ω)	70 dB以上	
消費電力(1/8POWER)	100 W	
電源電圧	100 V 50/60 Hz	
ヒューズ	4 A , 250 V , スローブロー (寸法:5 × 20 mm)	
保護回路	ショートサーキット保護、DC保護、 リミッター、熱保護、主電源異常保護	
寸法(W × H × D)	485 × 44 × 25 mm (突起含まず)	
質量	5.4kg	

保証書

取扱説明書等に従った正常な使用で故障が発生した場合、本保証規定に沿って無償修理いたします。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きに基づき、通常の使用で発生した故障については、無料で修理いたします。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より3年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理対応といたします。

- 不適当なお取り扱い方法により生じた故障の場合(例：イヤホンケーブルの断線、外傷、ボイスコイル焼けなどの故障)
- サウンドハウスおよび指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で既に修理された場合
- お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷、もしくは製品に対して何らかの改造が加えられた場合
- 天災(火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等)による故障および損傷の場合
- 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障および損傷とみなされた場合
- 落下など外部から衝撃を受けたことによる故障および損傷とみなされた場合
- 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障および損傷とみなされた場合
(例：発電機などの使用による異常電圧変動等)
- 消耗部品(電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等)の交換が必要な場合
- 製品の性質上、必要と思われるメンテナンスがされていない、もしくは充分で無いために生じた故障の場合
(例：スモークマシンなど舞台演出装置の目詰まり、機器の清掃、ケーブルの交換等)
- ケーブル、スティック、ピックなどの消耗品
- その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

- メーカーが該当商品の販売を中止、もしくはパーツやサービスの供給を終了または停止している場合
- メーカーからのパーツ供給が止まり、外部からもパーツを仕入れることができない場合
- 製造メーカーが事実上、倒産、廃業、または既存事業からの撤退をしている場合
- メーカーが保証期限を1年未満に定めている商品(例：ヘッドホンやイヤホンなど)

■運送費用

通常、修理品の送付・持込等に要する費用はすべてお客さまのご負担となります。ただし事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り、着払いにてお送りいただけます(下記RA番号が必要です)。沖縄など離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。

■RA番号(返品受付番号)

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サウンドハウス・サポートより発行するRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状の備考欄に明記してください。

■注意事項

サウンドハウス保証は日本国内においてのみ有効です。いかなる場合においても、商品の仕様および故障から生じる損害(周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害等)に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

※本規定は予告なく変更する場合があります。保証は最新の規定が適用され、変更後の規定はサウンドハウスWEBサイトにより通知するものとします。